

モノの5S と業務の5S

品質保証室

はじめに

広島市医師会臨床検査センターは2008年に全員参加で5S活動を開始しましたが、この2年は新型コロナPCR検査の影響で、定期的に行っていた監査を中断せざるを得ない状況にありました。

しかし、清潔な環境を維持する、エラーが起きにくい環境をつくる、当たり前のことを当たり前にする人材の育成等は、組織の基礎基盤になる重要な事項と考え、全員参加の5S活動強化期間をもうけましたので、その成果の一部を紹介いたします。

1. モノの5S

(1) 5Sとは 5つの言葉をローマ字表記の頭文字で表したものです。

整理	必要なモノと不要なモノを分け、不要なモノを捨てること
整頓	必要なモノがすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実にすること
清掃	掃除をして、ゴミ・汚れのないキレイな状態にすると同時に点検すること
清潔	整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのないキレイな状態を維持すること
しつけ	決められたことを、決められたとおりに実行できるよう習慣づけること

(引用：医療現場の5S活用ブック 高原昭男編著 日本能率協会マネジメントセンター)

(2) モノの5S 実行計画書

SS実行計画書(2)		2022/4/30				
もの5S 実行計画書		SS対象施設	SS実行リーダー	所属	作成年月日	
		血液・尿・便検査	竹内	根本	令和3年12月16日	
対象現場		スケジュール				主担当
		12月	1月	2月	3月	
1 整理(血液)	マットの交換	→→→				三坂
	靴	→→→				井上・竹内
	検体机	→→→				三坂
	冷蔵庫(BNP FDPコントロールの置き場)	→→→				井上(三坂)
	造心機	→→→				井上・竹内
	管理室ラベル			→→→		高津
2 清掃(血液)	試験管立て・排気口			→→→		竹内
	床(机の下も)			→→→		全員
	椅子・机・靴			→→→		高津
	配線			→→→		井上
	電話・PC・キーボード			→→→		全員
	汚水排水水道の周辺			→→→		三坂
実行リーダーコメント		業務が忙しくなかなか時間を作るのが難しいと思いますが、みんなで協力して頑張ります。				

全員参加の5Sは整理・整頓の場所を決め、全てのスタッフに担当を振り分け、計画的に実施します。

(3) モノの5S 紹介

事例Ⅰ 検査台

Before



- ・ 不要なモノが雑然とあった
→作業スペースが狭い
→清掃が十分にできていない
- ・ モノの置き場を決めていなかった

After



- ・ 収納場所を確保し、必要なものだけにし大きなカゴに入れた
- ・ 作業終了後はカゴごとに収納場所へ納める
→掃除しやすくなった

事例Ⅱ 検査室の事務机

Before



- ・ 机の中央に手作り棚を設置していた
→不安定で危険
- ・ ファイルの表示が統一できていない
- ・ 書類をファイルに納めず、出したまま
でいることが常習化していた
→探すのに時間がかかる

After



- ・ 全てが収納できる棚を設置
- ・ ファイルの表示を統一した
- ・ ファイルの色を分け、収納場所を決め、
取り出しやすい状態にした

2. 業務の5S

(1) 業務の5Sとは

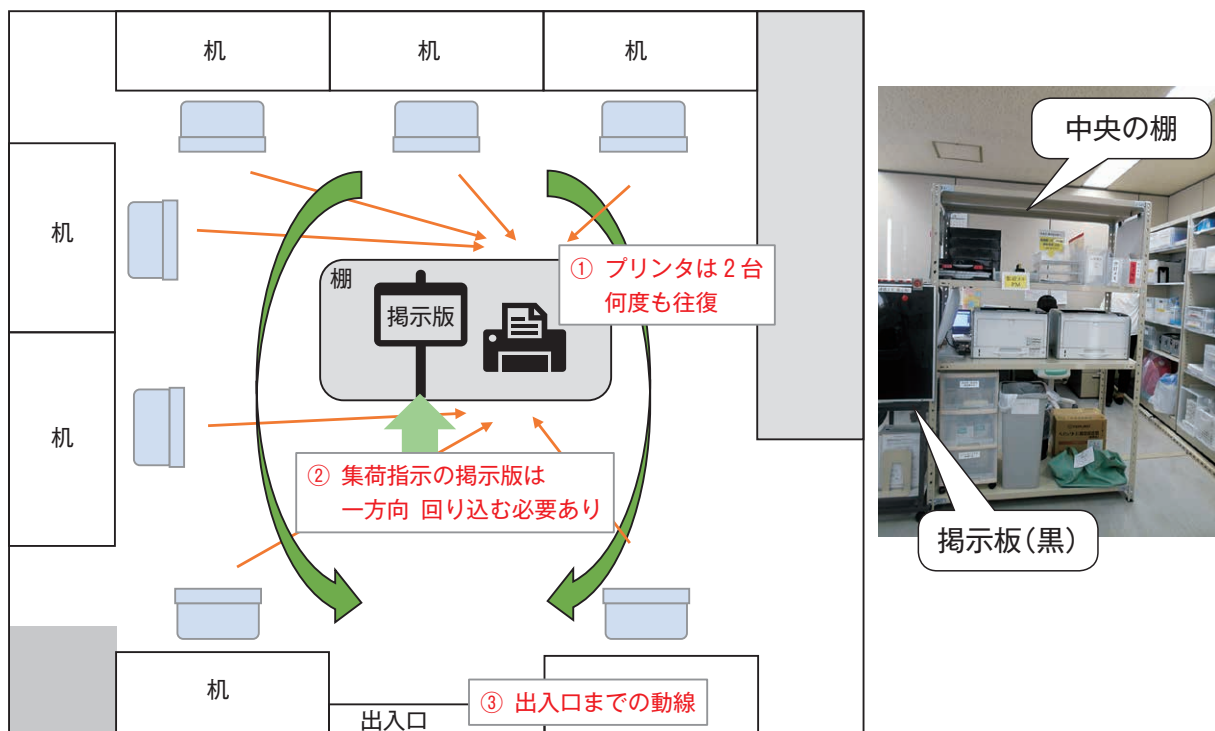
普段行っている業務を見直して改善することです。「やりづらい」、「間違いそうになった」、「やるのが煩雑」など感じている業務はないか、職員から聞き、課題を抽出します。

その後、効果の高いものから見直しを行います。最初に、業務の必要性の有無を考え、継続するのであれば、効率化、見える化などの視点で運用の改善を行います。

(2) コールセンターの業務の5S

コールセンターは1日平均650本程度の受電があり、受電内容は都度パソコンに入力し、入力後は記入した内容を印刷し、集配の指示や記録のため使用します。また、指示出し等で席を立つことが多い部署です。そのような中で以下の問題点がありました。

① 配車用の掲示板が見つづらい	回り込む職員は時間がかかる	1日：約100回
② スタッフ7人に対して、プリンタが2台しかない	都度取りに行く時間がかかる 他職員の印刷物と混ざる	1日：約600回
③ 出入口まで直進できない	時間がかかる	1日：約200回



各々の机の上にプリンタを設置できないか検討し、その後中央棚を小さいものに変え、動線の確保を行った。

対策Ⅰ プリンタの見直し

<新プリンタの条件>

- ・本体価格・インク代のコストが安いこと
- ・印字スピードが速いこと
- ・机の上におけるよう小さく・軽いこと

<結果>

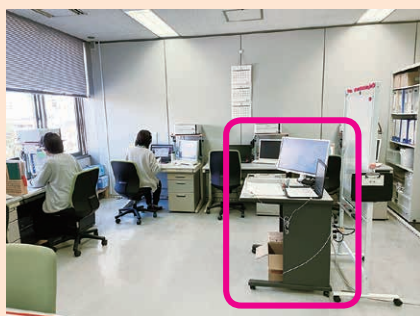
- ・条件を満たす新しいプリンタを導入した。
- ・各々の机の上に設置し、印刷物を取りに行く時間が削減できた。
- ・自分の印刷物だけを取ることで、指示漏れがなくなった。

★本体価格・インク代は年間約30万円のコストダウンができた。



対策Ⅱ 中央棚の撤去

集荷場所管理 PC を置くための背が低く、小さな机に変更したことで動線が良くなった。



対策Ⅲ 掲示場所の変更

キャスター付きのマグネット対応ホワイトボードを購入。皆が見やすい場所に設置し、角度も調整できるようにした。



おわりに

今回、新型コロナウイルス感染症が一時的に落ち着いたタイミングで、5S活動を強化しました。以前からの取り組みの基礎があったため、大きな負担なく整理・整頓・清掃が行えたと思います。業務の5Sは1動作あたり数秒の効率化しかありませんが、1日で計算すると、1日20分程度、6人で2時間の時間短縮に繋がりました。新型コロナウイルス第6波では受電数が1日1,000件を超える日もありましたが、今回の改善に取り組んでいたことで受電率を改善することができました。

5S活動には様々な効果がありますので、業務の中に当たり前に取り入れられるよう、工夫しながら続けていきたいと思っています。

担当：藤井 珠美（品質保証室 室長）
森岡 千代美（検査科 生化・免疫係）

ウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>